



千賀充能  
自民党市議団の  
・無所属の会

公共交通について

**問** 市は交通空白地や交通利便性をどのような指標や基準を用いて評価しているのか。またその評価が住民の利用実態や実感と乖離していないか。

**答** 昨年、塩津地区支線バスの運行開始により、市内の交通空白地は、概ね解消されてきたと考える。しかし昨年8月に実施したアンケート結果では、公共交通での移動に不便を感じていると答えた人の割合は35・7%で、前回5年前の調査結果より4・7ポイント悪化している。主な理由は、自宅からバス停が遠い、便数が少ないとの回答が多く、特に足の悪い高齢者には、バス停までの移動が困難目的の地まで公共交通で

移動できないといった課題の指摘がある。交通空白地の解消が進んでいるが、市民の実感としては、課題が解決されたと言えない状況と認識している。

住宅・建築物の土砂災害対策に関する補助制度の導入

**問** 国・県の補助を受け、市が主体的に市民の命を守るための補助制度が必要と思うかどうか。

**答** 補助要件に合致する建物が市内にどの程度あるのか、他の補助制度や補助制度以外の対応の検討も含め、本市の現状にふさわしい方法を調査検討し、実施を判断していく。



くるりんバス



牧野泰広  
自由クラブ

サーキュラーシティの未来について

**問** 市の資源回収における分別種類を増やしリサイクルを進める必要がある。分別の種類を増やしてはどうか。

**答** 令和8年4月より新たにプラスチック製品の分別回収を実施予定である。現在のプラスチック製容器包装の黄色のネットにプラスチック製品も入れる対応とし、回収後に再分別を行う予定である。

観光のまちづくりについて

**問** 直近の入湯税額と使用用途を伺う。

**答** 4年度は5121万円、5年度は5570万9千円、6年度は5881万6千円であった。観光振興施策として泉源や施設維持、観光誘客施策等に活用

されている。  
**問** 温泉地活性化に向け、宿泊税の導入や入湯税の増額、泉源維持管理事業費補助金を基金化し、廃業した旅館の解体等に充てるべきではないのか。

**答** 宿泊税は事業者の事務負担や課税による競争環境への影響も懸念される。入湯税の標準税率を超える税率設定は可能だが、利用客の直接的負担が増えるため慎重な議論が必要である。補助金の基金化もどの状況や目的で使うのか、総事業費に対する基金投入率の設定等の課題があるため慎重に検討すべきである。



尾崎広道  
自由クラブ

24時間換気システムを活用した感染症対策

**問** 感染症リスク回避に住宅の24時間換気システムが有効でないか。

**答** 換気量が十分と確認されれば有効と思われるが、複数手法の組み合わせが望ましい。

防災会議での疑問について

**問** 大規模災害時、通信制限で119番通報がつかない場合は、

**答** 繰り返し119番してほしい。場合により豊橋の消防指令センターから蒲郡消防へ回線切替も想定している。

**問** 救急車が来ず、自分の車で医療機関へ連れて行く場合の考えは。

**答** 道路等の情報を収集してから行動してほしい。大規模災害時は各中学校に医療救護所を開設するのでまずこ

ちらを受診してほしい。  
**問** ドローンで、火災情報を中継できないか。  
**答** 消火活動への支障のおそれや個人情報保護の観点から難しい。

魚市場仲買人について

**問** 漁業にはなくてはならない仲買人について、現状の把握は。

**答** 高齢化が進んでいる。水揚量減少で、経営は厳しい状況にある。

**問** 仲買人への支援策を伺う。

**答** 資金繰りや事業展開への補助がある。仲買人が事業継続し、魚市場を守り続けてもらえるよう、支援のあり方を研究していく。

